

2008年11月 11日発行

(ご参考)

硬質ウレタン製断熱パネルの一部製品に関する 防火認定の不正取得問題対応進捗について

東洋ゴム工業株式会社（社長：中倉健二）は、国土交通省より2007年11月5日に受領した嚴重注意に指示されている改修等の必要な対策を講ずるべき対象建築物の対策状況について下記の通りお知らせいたします。

2008年11月5日時点の対象建築物数は159件で、64件の工事が完了、対象外が確定した物件と合すると約7割となる合計109件の物件で対応が完了しています。

今年度中に全ての対応が完了するよう全力で取り組んでいます。2009年3月までに対応が完了する物件数は全体の9割・143件と見込んでいます。建築物の使用状況により工事時期の調整や改修方法の新規認定取得などに時間を要するため、残り16物件は来年度に対応が完了の見通しです。

当初判明した施工面積約17万㎡の内、対象物件が不明であった約2万㎡については、159物件の詳細な調査の結果、未判明は4,273㎡となっていますので、引き続き調査を継続してまいります。

一方、問題の再発を防止するため、「緊急対策」4項目について2008年3月までに対応が完了し、「恒久対策」6項目22アイテムについても本日までにほぼ予定通り対応が完了いたしました。

問題公表から一年が過ぎましたが、ここに改めてお客様や株主様などあらゆるステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をおかけしていたことを心からお詫び申し上げ、今後二度とこのようなことを起こさないよう「ものづくり企業」として品質とCSR（企業の社会的責任）を経営の中核としてとらえ、これまでの1年間の活動で定めた種々の方策を日常活動として継続し、全社員が一丸となって皆様からの信頼の回復に努めて参ります。

以上

硬質ウレタン製断熱パネル問題の対応進捗

お客様への改修工事対応状況

※2008年11月5日現在

種別	物件数	不適合				適合	
		①	②	③	④	⑤-A	⑤-B
		改修工事 打合中	改修工事 合意	工事開始	完了	対象外 確定	対象外 工事完了
工場	53	18	2	5	10	18	0
倉庫	27	1	1	5	10	8	2
店舗	71	1	13	3	4	18	32
住宅	6	1	0	0	3	1	1
学校	2	0	0	0	1	0	1
計	159	21	16	13	28	45	36

※従前、同一物件で納入時期(工事時期)が異なる場合は、1回の納入(工事)につき、物件数1件として計上していたが、今回の報告では、複数回の納入(工事)が行われている場合であっても、建築物1棟につき、物件数1件として計上している。
 ※また、その他の調査の結果(撤去された物件の削除、新たに見つかった物件の追加等)も反映し、対象物件数を176件から159件に修正している。

109物件、約70%が完了

製品補償費用の計上推移

(百万円)

	2007.9月期 (当初見積額)	2008.3月期	2008年度 第2四半期累計	製品補償対策費内訳
製品補償対策費('07年済)	0	772	772	・改修工事費 ・活動人件費 ・活動経費 ※再見積もり実施し、'08上期 で5.7億円の追加繰入実施
製品補償対策費('08年度)	—	—	1,585	
製品補償引当金	4,035	3,263	2,248*	
合計	4,035	4,035	4,605	